



平成 29 年 2 月 14 日

各 位

会 社 名 不二精機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 伊井 剛  
 (JASDAQ コード番号 6400)  
 問合せ先 専務取締役 山本幸司  
 (TEL. 06 - 4306 - 6822)

### 連結通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 18 日付で公表いたしました平成 28 年 12 月期の連結通期業績予想と実績の差異について、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 28 年 12 月期連結通期業績予想と実績との差異

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前 回 予 想 (A)	5,372	173	29	18	2.12
通 期 実 績 (B)	5,108	211	55	39	4.90
増 減 額 (B-A)	△264	38	26	21	—
増 減 率 (%)	△4.9	22.0	89.7	116.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	5,539	189	△53	△64	△7.56

#### <差異理由>

売上高については、当期発生した円高（中国元、タイバーツ、インドネシアルピア）により円換算額が業績予想時と比較し 311 百万円減少しております。実質的には売上高合計で 47 百万円増加し、精密成形品事業で自動車関連部品を中心に 164 百万円の増加、上期に発生した中国市場における精密金型の大口案件の受注減の影響が残り、精密金型事業で 117 百万円減少となりました。以上の結果、円換算額としては前回予想を下回りました。

なお、上記の円高の影響は売上原価および各費用関係にも発生しており、営業利益以下の利益への影響は軽微であります。

営業利益については、精密成形品事業でインドネシア子会社の営業損益が予想を上回り黒字化が達成できたこと、精密金型事業で経費削減などの原価低減活動を実施したことなどにより、前回予想を上回りました。

経常利益については、グループ内債権債務の評価替えによる為替評価損が発生しましたが、営業利益が予想を上回り支払利息の減少などもあり、前回予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益については、経常利益が前回予想を上回ったことなどにより、前回予想を上回りました。

以 上